

ホームヘルパー奮闘記 vol.1

今回の話は
ヘルパー主任
吉田 浩美
です。



この2月に、当事業所で最年長のご利用者である、N様の「白寿」のお祝いをしていただきました。一人暮らしの男性です。人格的に素晴らしいのは勿論ですが、私たちが尊敬してやまないのは、その自律心です。

離れて暮らす家族に「心配かけたくない!」と日頃よく口にされますが、実は「今でも家族の為になりたい」と凛々しい笑顔で話されたのが印象的で私たちにとっても最高の喜びとなった1日でした。

ホームヘルパーは在宅支援の要と謳われて久しいですが、皆様の人生に触れるたびに私たちは要としてどう在るべきか立ち止まり考える機会をいただきます。

何しろ人生の達人たちは私たちのような未熟者をいとも簡単に気持ち良く喜ばせて下さいます。私たちがまた、それぞれに苦勞の時代を生き抜いてこられた方々の英知から沢山の学びをいただきながら、このご縁を大切に紡いでいけるように願ってやみません。

人生の最終ステージで皆さまがご自身の存在価値を益々高めていただけるように、玉光苑色(ピンク)のヘルパーが今日も元気に皆さまのすぐ近くで活動を行っています。



こんにちは!
玉光苑です。

玉光苑・スタッフの出来事 TOPIX

平成28年度 入社式

4月1日 入社式が執り行われました。今年度は4人の採用があり、玉光苑の各事業部に配属となりました。まだ慣れない業務に悪戦苦闘しているところだと思いますが、必死に努力している姿を目にします。一緒に頑張っていきましょう。



新任職員研修

4月1日の入社式後から3日間続けて「新任職員研修」が行われました。前年度の中途採用職員も対象といたしました。ヒーリングフォレスト明石先生、ファンフェイス山村先生と当施設ではお馴染みの外部講師にご依頼をしました。



フレッシュルーキーたちの表情は緊張していましたが、愛のある講義・演習を通してルーキー間の絆が芽生えたように感じられました。これから大いに力を発揮してくれることを期待しています。

介護福祉士 合格!

3月28日 国家資格である介護福祉士の合格発表があり、当施設より6名が合格しました。昨年より筆記試験対策で業務終了後に各自、睡魔と戦いながら勉強し、実技試験前には何度もシミュレーションして対策してきました。合格発表当日、受験者は気が気ではなかったようですが、見事に努力が報われました。今後は介護の専門職(プロ)として「利用者本位のサービス提供」に実力を発揮できるよう更なる進化を期待しています。



リーダークラス研修

施設の方針である「利用者本位」を実現すべく、その核となる管理部・主任・リーダーを対象とした「リーダークラス研修」が今年1月から始まり3月まで行われました。講師にはヒーリングフォレスト 明石先生にご依頼をし、当施設の状況にあったプログラムを設定していただき組織としてのあり方、専門職・リーダーとしての行動を実践レベルまで掘り下げていただきました。熱の入った講義・演習を通して回を重ねるたびにスタッフの意識も変わり「利用者本位のサービス」は理想ではなく、施設の方針として実現しなければという熱い想いの中、行動が少しずつ変わってきました。まだ小さな1歩かもしれませんが、大きな成果だと考えています。結果にコミットする明石先生には感謝しかありません。ありがとうございました。ご縁に感謝です。



玉光苑新聞

「玉光苑News」～情報、笑顔をお届け～



思い出デート in 平和市民公園

私たち玉光苑では、ご利用者の方々のライフスタイルやそれまでの過程…嗜好性など様々なお話をすることで、ご自身がより楽しく毎日をご過ごしていただけたらと思い企画を個別に色々と考えています。

そこで今回は、【お楽しみ企画・特養合同イベント】ということで、ご夫婦で当施設に入居されている方に昔を懐かしんでいただきたく「思い出デート」を行いました。

お二人の結婚記念日に合わせて、昔よく出掛けていたという平和市民公園に行き、二人だけの甘い時間を楽しんでいただきました。日頃から、仲睦まじいお姿をよく拝見しますが、当日はお互い、恥ずかしさから目が合うと照れ笑いをを見せていました。しかし、ふとしたときにお互いを気遣ったり、優しく声をかけたりとさりげなく想い合う場面が随所に見られ、同行した独身スタッフは二人の姿を拝見して結婚願望がさらに強くなったようで、既婚スタッフは「今日帰ったら嫁に優しくしよう」と日々を反省していました。

ご夫婦の愛、絆を改めて感じさせていただいたのと同時にスタッフ達は感謝の気持ちが生まれた企画でもありました。

いつまでも仲よく、おしどり夫婦でいて下さい。



曇り空もなんのその。
お二人の笑顔に桜が映えます。



「ぎゅっ」と握られた手が
印象的な1シーン



玉光苑の屋上庭園には、若々しい緑の木々や色とりどりの花々が鮮やかに咲き誇り、四季の中でも華やかで活気に溢れた季節の到来とともに新年度がスタートいたしました。

平成28年度事業計画として利用者本位のケアをチームワークで実践し、組織の機能と役割、更に権限の明確化を図ることで、より具体的な組織の構築に努めます。

具体的な方針として、チーム目標の設定、会議の方法とルールの共有化、組織の健康度チェック、教育体制の仕組みづくり等々を実践していく中で、ご利用者様のたくさんの笑顔のため、日常生活において新たな取り組みが生まれるためにチーム力・組織力を形成いたします。

各種委員会の活動、職員研修の実践により新しい知識や手法を積極的に取り入れ、職員の資質の向上を図ります。

ご利用者様、ご家族様、関係機関の皆様にご信頼と納得が得られるサービスの提供を心掛けてまいります。

更に地域社会への貢献が、社会福祉法人の経営努力の結果でもあると認識し、公的責任の部分に於いて収支が見合うよう業務遂行に努めます。

これからも多くの皆様のご意見を聴き、地域のために誇れる施設づくりに邁進してまいります。

今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

社会福祉法人 霊山会 理事長
特別養護老人ホーム 玉光苑 施設長
秦 勝子

玉光苑
キラキラ瞳のスタッフ紹介 クローズアップ

ユニット型特養 介護主任 庄司 和加子

「利用者本位実現」を目的に、玉光苑でお暮らしになられているご入居者様一人ひとりがその人らしく、そして家で暮らされていた生活リズムや生活習慣を、ここ玉光苑でも出来るだけ継続していただけるような暮らしを目指しています。

ユニット型の特色である「個室」や「小さな空間」を活用して、できるだけ家に近い空間作りを行います。また、ご入居者様とスタッフ、ご家族様とスタッフの「顔なじみの関係」により、より安心して暮らしていただきたいと考えております。

また、今までご自宅で当たり前に行っていた「誕生会」「外食」「季節を感じるイベント」「ご家族との時間」「結婚記念日」等を玉光苑でも当たり前に行きたいと考え、現在各ユニットでご入居者様のご意見を伺い、少しずつですが企画・実施をしております。企画実施後、ご入居者様のいつもと違う笑顔を見ると、私はいつも目頭が熱くなります(実はこう見えて、涙もろいんです)

私にとって福祉とは「笑い」です。ご入居者様、ご家族様、スタッフみんなが笑って暮らせる事が一番だと思っております。私はいつも紫色のポロシャツを着ています。見かけたら声をかけていただくと嬉しいです。

ユニット型が始まってまだ1年ちょっとですが、一人ひとりに合った暮らしのサポートをさせていただくため、日々努力をしております。今後ともよろしくお願ひします。

今回は9月号です。情報満載でお届けします! お楽しみに!

編集後記

今号より「玉光苑news&笑顔をお届け」をテーマにしております。日常の中で起きた、ちょっとほっこりするようなエピソードを満載に読み終えた後に笑みが浮かぶような広報誌を目指しています。とろろの玄關先にある「ふじ」に花が咲きました。まだ40cm程度なのに確実に成長しています。新生玉光苑も「利用者本位」のサービスを実現できるよう「ふじ」のように1歩ずつ成長していきたいと思ひます。



担当/藤井



社会福祉法人 霊山会
大分市大字459番地(稲田保育園となり)
TEL.097-541-0344
FAX.097-542-0942

玉光苑 検索



従来型 特養イベント



百寿
タウン

藤
タウン

VS



<第1回 タウン対抗 風船バレー対決>

4月13日(水) 地域ルームにてタウンのプライドをかけた熱き戦いが繰り広げられました。風船バレーの勝負はお互いに譲らず、フルセットまでもつれ両タウンともにマッチポイントを迎えた結果、藤タウンが激戦を制し、初優勝をいたしました。白熱した試合でしたが、ご利用者の皆様の積極的なレシーブ&アタックは日本代表さながらでした。激闘の後はタウン合同で「おやつバイキング」に舌つづみを打ちながらお互いの健闘を称えあっていました。



藤タウンが初優勝!

ユニット型 特養イベント

「桜のお花見」



8日:「玉のまち」 平和市民公園へ

4月5日～8日の4日間、それぞれの「まち」の皆さんで、桜の花見会を楽しみました。

ななせ公園は広い芝生に、桜堤の美しさ、子どもさんをお連れのご家族の楽しそうな声に入居者様も心が弾んだ様子でした。

平和市民公園ではチューリップが咲き、桜並木には花びらで敷き詰められた散歩道がとても美しかったです。

4日間ともに、最近流行の「おにぎらず」のお弁当を持参し、ご家族とも一緒にお花見会ができました。

春を感じながら、美味しく、楽しく素敵な時間を過ごせました。



5日:「光のまち」
6日:「虹のまち」 ななせ公園へ



7日:「心のまち」
春の嵐で地域ルームでの桜の鑑賞会

デイサービス
センター



吉四六ランド

「ご利用者本位のサービス」の実現ということで個別ケアを中心としたサービスをご提供していますが、4月はご利用者全員による外出イベントが数多く行われました。

野津町「吉四六ランド」の桜から始まり、旧のホーバー乗り場付近の桜並木、平和市民公園の八重桜とどれも大変素晴らしく見応えのある桜でした。

センターの中での表情とまた違った季節を肌で感じられている自然な笑顔がたくさん見られましたので、スタッフ一同嬉しく思っております。

桜の花見のような全員参加のイベントも多くありますが、基本はご利用者一人一人のサービスプランに沿って「その人らしさ:パーソンフッド」を引き出し自信回復に繋がるサービスをコンセプトとしていますので、より「その人らしさ」が発揮できるような楽しみが持てるサービスプランに重点を置き、ご提供したいと思っております。



平和市民公園



旧ホーバー乗り場付近の桜並木

ユニット型 特養イベント



母の日
&
女子会イベント

5月8日(日)「母の日&女子会」が開催されました。入居者様、ご家族が約50名参加される盛大な催しとなりました。

ミスターシュガーさんをお迎えし、中国変面(鮮やかな衣装がひるがえった瞬間に面が変わる)とマジックショーのお楽しみのあと、スイーツバイキングにてケーキや和菓子などお好きなものをセレクトし、幸せなひと時を過ごしました。

最後にはご家族、職員から入居者様おひとりおひとりに日頃の感謝の気持ちを添えて、涙・涙…笑顔…!のカーネーションのプレゼントが出来ました。

これからも4つの「まち」の皆さんで幸せのひと時となる多くの思い出作りをしていきます。



information

「徘徊について歩けば地区の人
我にエール勇氣百倍」
長野 八重子

NHKハートネットTV取材

「NHK介護百人一首2016」にデイサービスセンターをご利用されている長野 晴好さんの奥様、八重子さんの作品が入選いたしました。在宅で介護されている中で多くの不安や悩みを抱えながら近隣の方の理解や協力が助けられながら前向きに明るく介護されている奥様がNHKの取材を受けられることになり、微力ですが長野 晴好さんのサポートをしているということでセンターも取材を受けることとなり、5月2日(月)ハートネットTVにその様子が放送されました。全国デビューです!



日々、ご主人らしく過ごされるために、色々なアイデアを試され時として不安から涙を流されることもありますが、ご主人の存在を支えに介護されている奥様を尊敬しております。お二人の心からの笑顔を見つけていきたいと願っています。

今昔物語

第1話

『いつまでも人の役に立ちたい』Kさん

今号より玉光苑の事業をご利用されている方の昔話をシリーズとして掲載していくことになりました。

記念すべき第1回目はデイサービスをご利用のKさんの物語です。

昭和4年、豊後中村で生まれたKさんのご実家は商店を営んでおり、小学4年生の頃より家業を手伝い、旅館やお得意先等にお酒を搬入していました。冬は雪の積もる中、自転車を押しながら両親を助けるために懸命に働きました。「豊後中村の百貨店だから忙しいのは仕方ない。酒は八鹿が最高!」と誇らしげです。

叔母さんが洋裁・和裁が得意だったことがきっかけで、大分の城南高校で本格的に学びました。友だちや知り合いからも「生地を持って行くから可愛い服を作って」と頼まれることもしばしば。勿論、2人の愛娘の衣装も全て手作りです。得意なのはそれだけではなく、料理の腕もプロ級です。

先日、娘さんが「子どもの頃に遠足に行ったとき、おやつとしてキャラメルを作ってくれて、すごく嬉しかったことを覚えています。本当に料理も上手で当時の母には勝てません。」と話してくれました。近隣の方にも親切で、両親共働きの家庭の子どもに、食事の面倒をみるなど自分の愛娘同様に可愛がり、今でもその家族はKさんのことを神様のように慕っているそうです。

そんな誰からも愛され、人の幸せを自分の喜びと思えるKさんが受けたご主人もかなりの人物で、その功績が称えられ天皇陛下より皇居でご夫婦そろって表彰されました。自宅にはモーニング姿のご主人とその隣でおしとやかに寄り添う着物姿のKさんの写真が飾られています。残念ながら最愛のご主人は数年前に他界されましたが、Kさんの心には、今でもご主人が生きていて、大きな支えとなっています。

認知症を患って、今まで出来ていたことが少しずつ不自由になってきましたが、随所に「人の役に立ちたい」というKさんらしい思いが伝わる場面が多くみられます。お二人の娘さんにとっても大きな存在です。

ご家族もKさんらしく最期まで生きてほしい、そのために出来ることは何でもしたいという想いを強く感じます。縁があって玉光苑をご利用させていただいていますので、Kさんの想い、ご家族の想いを大切に守っていきたく強く思います。

今日もデイサービスでは「♪会いた～さ。見たさ～に怖さ～を忘れえ～。」とKさん十八番の「かごの鳥」が響きわたっていることでしょう。

次回も
お楽しみに!
だワン

